

農業担い手の確保・育成に向けて

提案型担い手確保対策を中心とした中央西地区の農業の活性化

農業を取り巻く状況

販売農家

年	土佐市	いの町
2000	3434人	1222人(350)
2005	2696人	929人(282)
2010	2183人	767人(200)

10年で
約6割に減少

平均年齢

年	土佐市	いの町
2010	60.6歳	66.8歳(73.4)

経営耕地面積

年	土佐市	いの町
2000	1156ha	590ha(191)
2005	916ha	382ha(113)
2010	880ha	353ha(94)

10年で
土佐市約8割
吾北 約5割
に減少

() 吾北地区

農林業センサス2000、2005、2010

農業担い手の確保・育成に向けて

平坦地

就農希望者、新規就農者の確保

新規就農者の受け入れ体制整備

「提案書」に基づく就農希望者の確保

魅力を高める産地づくり

環境制御技術を用いた生産性の向上

IPM技術の普及

新規就農者の経営安定化支援及びモデル部会の取り組み波及啓発

経営開始計画等達成支援及びモデル部会の取り組み波及啓発

青年等就農計画作成支援

中山間地

中山間地における就農希望者の確保・育成支援

研修及び就農準備支援

研修生受け入れ体制整備

対象

1 平坦地：土佐市

J Aとさし 胡瓜部会

J Aとさし キュウリ部会の状況

	26園芸年度	31園芸年度	36園芸年度
栽培面積 (ha)	12.6	10	8
戸数 (戸)	68	58	44

注) 平成25年度意向調査の結果に基づく予測値。

1年当たり2～3人程度
の新規就農者が必要

1 JAとさし胡瓜（キュウリ）部会

- ・産地問題

キュウリ 土佐市の基幹品目。

H23年 部会ビジョン（生き残る産地が目標）

H24年 ウリ類黄化えそ病の激発

H26～27年 産地間競争
生き残る産地のために！

・ 人が減少、高齢化の中で、
新たな投資？選果ライン導入！



・ H 2 6 年 新たなビジョン！

(1) 「産地提案型※」担い手確保対策

※ 産地自らが、受け入れたい人材や研修から就農までの道筋を発信する、新しい「提案型」の担い手確保対策です。

(2) 環境制御技術の導入

(3) 合同出荷体制の検討（2 J A）

目標

(平成27年度)

J Aとさし胡瓜部会

- ・ 新規就農者の受け入れ体制整備
- ・ 就農希望者の確保 (1人)

魅力を高める産地づくり

- ・ 新たな栽培技術の検討等

(取組農家数 10戸)

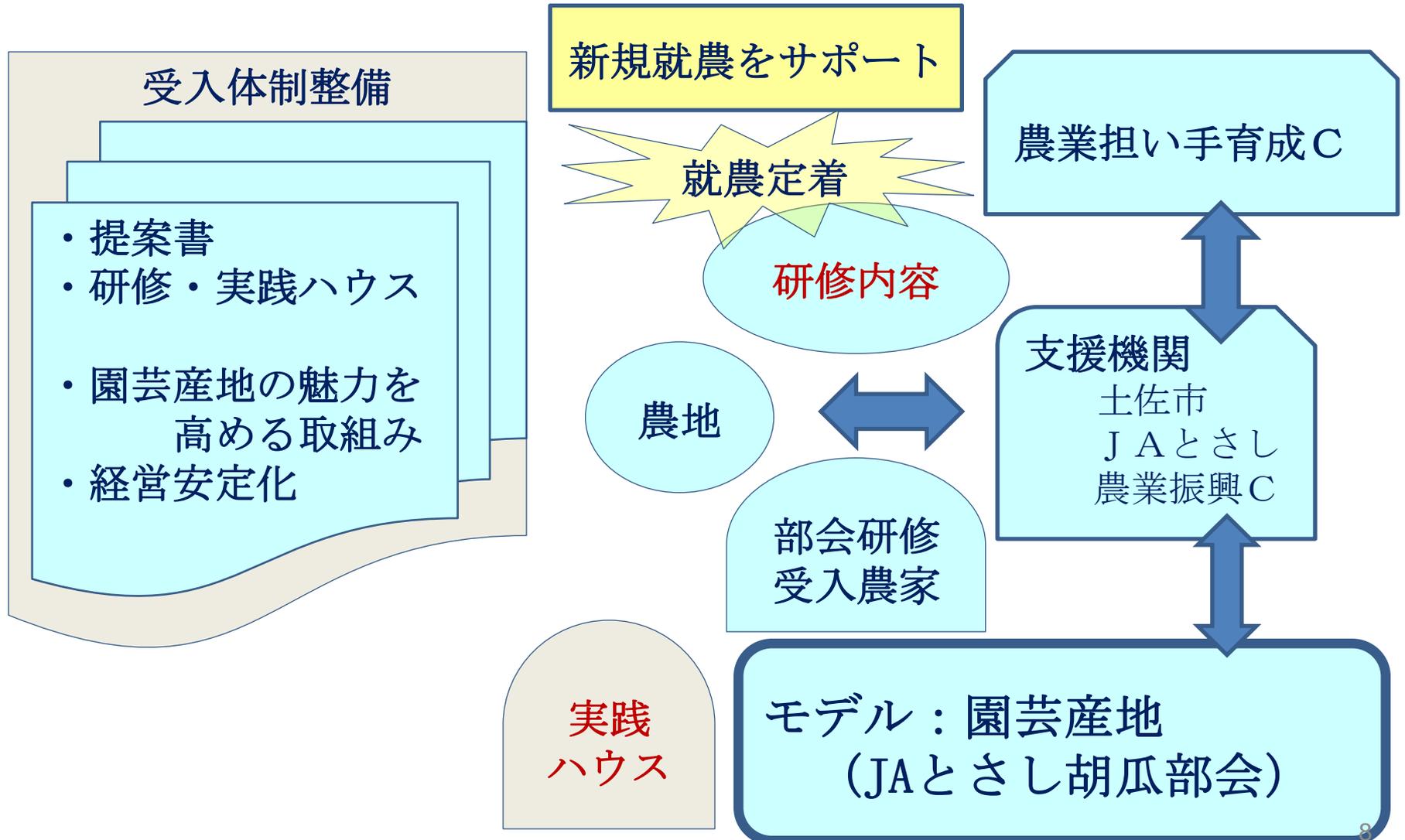
- ・ 天敵防除技術の普及

(タバコカシカメ利用農家数13戸)

新たな選果ラインの導入

普及活動の体制

J Aとさし胡瓜部会



活動内容

J A と さ し 胡 瓜 部 会

就農相談活動から研修を通じ、就農までの仕組みを作る

魅力ある産地（部会）を目指す

「提案書」

産地が求めるものを提案！

1 研修条件	農業に対する強い意志と意欲・・・
2 年齢	高知県〇〇市町に移住、就農する意思・・・
3 研修期間	研修場所（1年目：四万十町等、2年目：〇〇市町） 場所まで通うことが可能であること・・・
4 研修作目	
5 募集人員	
6 募集期間	
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身ともに健康であるもの・・・ (中略) ・ 研修修了後の農業経営に必要な設備投資、運転資金である自己資金概ね500万円以上・・・ (中略) ・ 面談及び評価表にて、採用、研修等継続を決定・・・ (中略) ・ 事業要件に合わなくなった場合、原則、研修手当の返還・・・

• 農業研修を始めるために

受け入れ農家等の整備

受け入れ機関等
JA生産部会 キュウリ部会
農業担い手育成センター

- 関係機関連絡会（月1回開催）
方向性や計画の進捗状況の確認、制度の活用。
- 部会役員会、反省会・出荷場落成式、現地検討会、個別面談等
説明、合意
- 農業担い手育成センター
打合せ、視察、研修生誘致等

• 魅力を高める産地づくり

新たな栽培技術の検討

施設内環境データに基づく栽培管理

天敵防除技術の普及

天敵 タバコカスミカメの利用等

• 関係機関連絡会

方向性や進捗状況の確認及び導入に対する支援の検討

• 部会現地検討会、環境制御等研修会、先進地調査

新たな技術の情報共有や天敵利用における時期ごとの防除技術の確認

• 実証ほ設置

炭酸ガス施用技術の検討

新しい天敵の利用技術の検討

・ キュウリ選果施設導入の検討

トレーサビリティ機能付き選果ライン

- ・ 関係機関連絡会
将来ビジョンの設定（案）作成、検討、修正
- ・ 生産量の増加
そのためには
 - （1） 合同出荷体制の検討（2 J A）
 - （2） 環境制御技術の導入
 - （3） 「産地提案型」担い手確保対策



胡瓜部会での説明 「提案型」担い手確保とは・・・



熱心に講演を聴く参加者



クレオメは
なかなかふとらんねえ⁴⁵



「果実の肥大がはやいと思う・・・」

活動結果

J A とさし胡瓜部会

産地提案型担い手確保

- ① 受入体制ができた
- ② 「提案書」ができた
- ③ キュウリ生産が、魅力を高める方向性で動き出した
- ④ 2 J A が協力して、新たな選果ラインが完成した

対象

2 中山間地：いの町吾北地区

(公財) いの町農業公社

- ・ 中山間地 営農条件は厳しい。
- ・ 研修体制 支援体制は十分とはいえない。

中山間地の担い手は、地域の担い手でもある。
安心して研修・就農できる支援体制の構築が急務。

目標

(平成27年度)

(公財) いの町農業公社 (吾北地区)

- ・ 研修及び就農準備支援

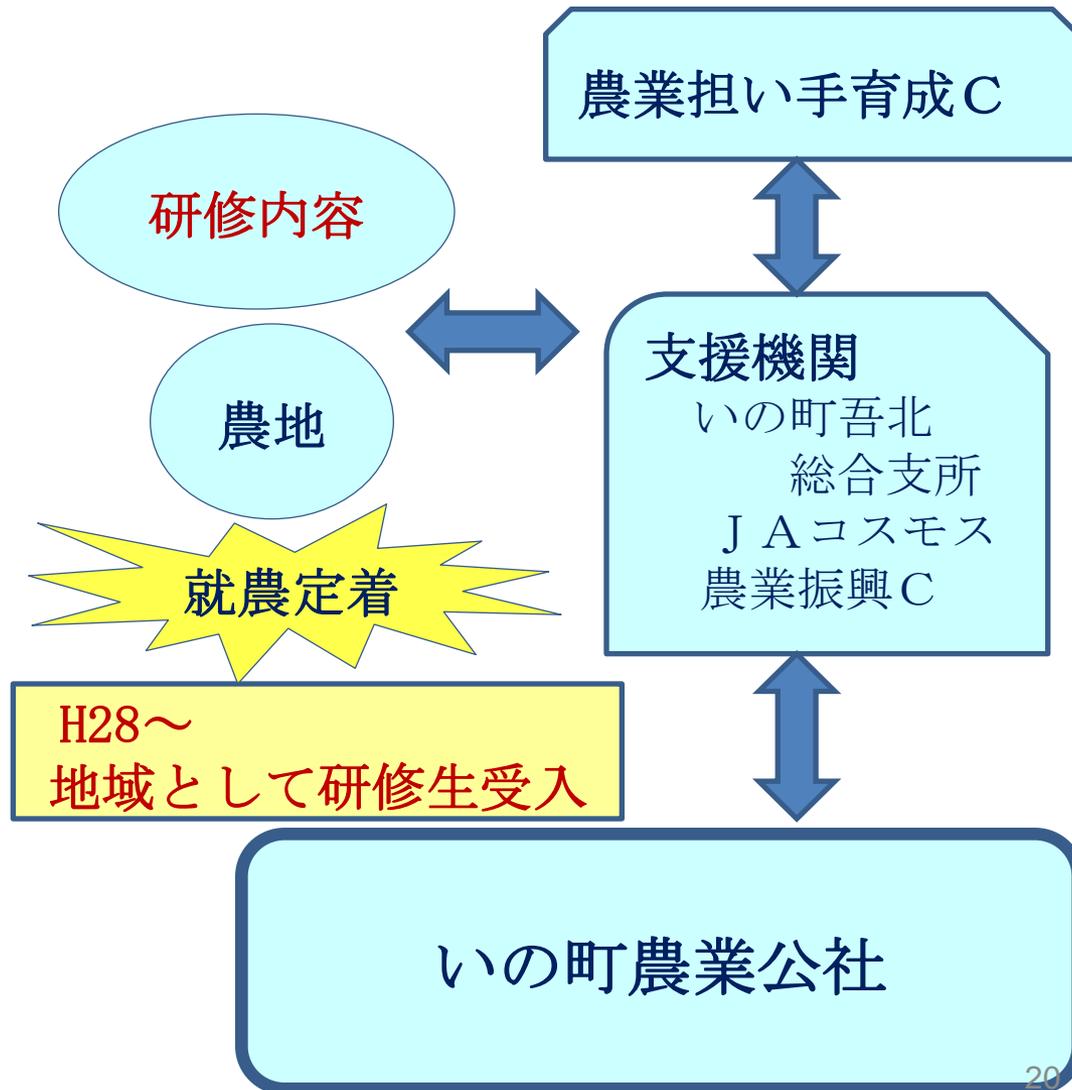
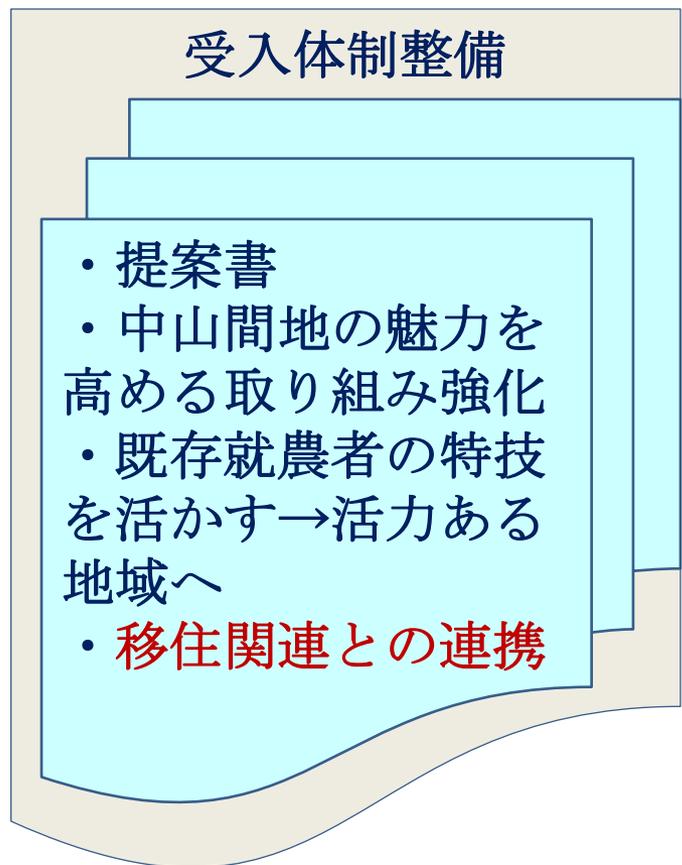
(新規研修生 1戸)

- ・ 研修生の受入体制整備

(受入体制の充実等)

普及活動の体制

(公財) いの町農業公社



活動内容

(公財) いの町農業公社

就農相談活動から研修を通じ、就農までの仕組みを作る

特に、地域で支える関係を構築する

・ 農業研修を支援するために

受入機関の整備

受け入れ機関等
いの町農業公社
農業担い手育成センター
<ul style="list-style-type: none">・ 関係機関連絡会（月 1 回開催） 方向性や計画の進捗状況の確認・ 現地検討会など J A 部会活動への支援、個別面談 技術指導、研修・就農状況確認・ 農業担い手育成センター 打合せ、短期研修の活用

研修生面談及び就農状況確認



これは、じるいねえ



この実は、取ったほうがいいです²³よ

活動結果

(公財) いの町農業公社

産地提案型担い手確保

① 受入体制の充実

② 「提案書」ができた

成果

J Aとさし胡瓜部会

環境制御技術などの導入で収量の向上が見込まれる、魅力あるキュウリ産地として機運が高まり、新規就農者の募集を開始した。

(公財) いの町農業公社

移住者重視の新規就農者募集を開始した。

・新規研修生の確保

H27年度 研修希望者 0人



○H27年度就農相談会参加
新・農業人フェア(東京12/12)5人
(大阪 1/23)7人

・魅力を高める産地づくり

JAとさし胡瓜部会	活動成果
環境制御技術等を用いた生産性の向上	<p>・環境制御技術研修会（2回 44名参加） 現地検討会、研修会（18回 176名参加）</p> <p>関心が高まり、新たに4戸で炭酸ガス発生装置を、環境測定機器を2戸が導入。</p>
I P M技術の普及	<p>・天敵利用研修会（2回 48名参加） 現地検討会。（5回 53名参加） 実証ほ</p> <p>技術に対する情報共有、時期ごとの防除技術の注意点が共有された。</p>

・キュウリ選果施設導入

	活動成果
トレーサビリティ機能付選果ライン	<p>選果ラインの完成 将来ビジョンの設定</p> <ul style="list-style-type: none">・ J A コスモス 合同出荷・ 環境制御技術の導入促進・ 「産地提案型」担い手確保対策への取組



・ 受入体制等

いの町農業公社	活動成果
研修及び就農準備支援	<ul style="list-style-type: none">・ 営農類型作成。・ 研修計画の見直し。・ 就農準備支援。
受入体制整備	<ul style="list-style-type: none">・ 「提案書」作成。・ 研修希望者確保（1人）。<u>4月に1人追加。</u>・ 研修修了生フォローアップ検討、実施。

・今後の取り組み

J Aとさし胡瓜部会

課題	活動内容
就農希望者の 確保	県内就農相談会 新・農業人フェア（県外） 農業担い手育成Cの活用 等
胡瓜部会 取組の波及	連絡会（方向性を決定） 部会役員会（説明、合意形成） 研修計画等作成支援 関連事業の活用 等
魅力ある産地づくり ・生産者の 技術交流 （2 J A） ・研修指導用栽培資料作成 ・環境制御技術導入農家への 技術支援 や 導入農家の拡大	連絡会、J A（打合せ） 2 J A合同研修会 指導資料（案）取りまとめ、 検討、修正 研修会、現地検討会 等

(公財) いの町農業公社

課題	活動内容
農業研修への支援	研修状況の確認 研修修了生への意向調査及び、研修生との交流 農業担い手育成Cの活用 等
受入体制整備	連絡会（情報共有） 関連事業、制度の活用を検討 研修計画等作成支援 提案書の見直し 等

活動状況の周知、役割分担

J A園芸部員

- 空いている家や土地、ハウスなどの情報を伝える。
- 就農希望者の農業研修受け入れ。
- 栽培を新しく始めた人の相談にのる。

市・町

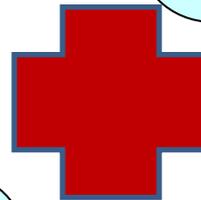
- 就農希望者への家、土地などの情報提供。
- 各市町での交流会活動。

J A・集落営農組織

- 新規就農者に重点的に営農指導。
- 生産部会等において就農希望者の研修の受け入れ。
- 営農資材、資金面の支援。
- 有利な出荷販売体制を作る。

振興センター

- 新規就農者への技術指導。
- 新規就農者ネットワーク化のためのコーディネート。



ご清聴ありがとうございました。

